

# タウンサポーター



下都賀教育事務所 ふれあい学習課  
 栃木市神田町6-6 0282-23-3422  
 E-mail: shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

## 「すべての子どもに 生きる力をはぐくむ 学校・家庭・地域づくり」を目指して

栃木県教育委員会事務局 下都賀教育事務所長 永井 啓之

栃木県教育委員会では、『栃木県教育振興基本計画2020-教育ビジョンとちぎー』を策定し、今年度で4年目となりました。「地域とつながり」「ともに」といった文言にあるとおり、次代を担う子どもたちの育成やさまざまな課題解決のために、学校・家庭・地域がお互いの役割を認識し、「お互い様」の関係のもと、「育ちあえる絆」をつくって、協働して取り組むことが求められています。

新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現を図るためには、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、地域社会とのつながりを重視しながら、本校ならではの教育活動の実現が重要となります。これを受けて、平成31（2019）年度版『下都賀地区学校教育の重点』では、「学校経営」のページの次に「ふれあい学習」を敢えて位置付けました。

地区の教育行政の拠点である下都賀教育事務所は、その使命を「すべての子どもに 生きる力をはぐくむ 学校・家庭・地域づくり」ととらえ、目標、課題を明確にし、それらを念頭に置いて積極的に業務に取り組んでまいります。各市町教育委員会や関係機関のご協力を得ながら、下都賀管内の学校教育の充実、ふれあい学習の推進のために努力いたします。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



## 「育ちあう絆」づくりに向けて

栃木県教育委員会事務局 下都賀教育事務所 ふれあい学習課長 星 育夫

本県では平成26年に全国に先駆けて「地域連携教員」を全ての公立学校に配置しました。お陰様で、多くの地域住民の協力を得ながら多様な教育活動が活発に展開されています。また、地域と学校が双方向に連携・協働した「学校を核とした地域づくり」や「地域住民同士の学び合い」につながるような取組が増えつつあります。

現在の日本は、急激な少子化・高齢化、グローバル化や情報化の中にあるだけでなく、今を生きる子どもたちが、将来の変化を予測することが困難な時代とも言われています。このような未来に対応するためには、受け身ではなく、主体的に社会の変化に対処し、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくことができる資質・能力が重要です。

次代を担う子どもたちの「生きる力」を育むためには、学校のみならず、家庭、地域社会や信頼できる大人との関わり等、良好でしなやかな人間関係の中で様々な経験を重ねていくことが大切です。また、子どもの育ちを支える家庭や地域の大人の教育力についても、子どもとの関わりや大人同士の関わりの中で生まれた絆をもとに高められると考えます。

郷土に「愛着」をもち、他者と「協働」しながら、未来を創造していける「自立」した人づくり、絆づくりを目指して、ふれあい学習をともに進めていきましょう。



## ふれあい学習課職員紹介

社会教育主事 山口 健一

【担当業務】人権教育・男女共同参画  
 青少年教育  
 【担当市町】栃木市

副主幹 高山 康代

【担当業務】生涯学習振興 文化振興  
 【担当市町】小山市



所長補佐兼ふれあい学習課長 星 育夫

【担当業務】全業務（総括）  
 【担当市町】全市町

社会教育主事 神山 陽子

【担当業務】家庭教育 成人教育  
 【担当市町】野木町

副主幹 鈴木 正俊

【担当業務】ふれあい学習推進  
 社会教育 生涯スポーツ  
 【担当市町】壬生町 下野市

よろしくお願いいたします。

## 『ふれあいサポート』を御活用ください

ふれあい学習課では、**ふれあいサポート「学校を応援します」・「地域を応援します」**として、各種研修の支援を行います。

詳細はホームページに掲載しておりますので、参照ください。

下都賀教育事務所ふれあい学習課

検索

### 「学校を応援します」

教職員や保護者等を対象とした研修の支援

### 「地域を応援します」

家庭教育支援者や子ども会育成会役員等、  
 地域で活躍する指導者のための各種研修の支援

「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。

ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の再生・充実を目指します。